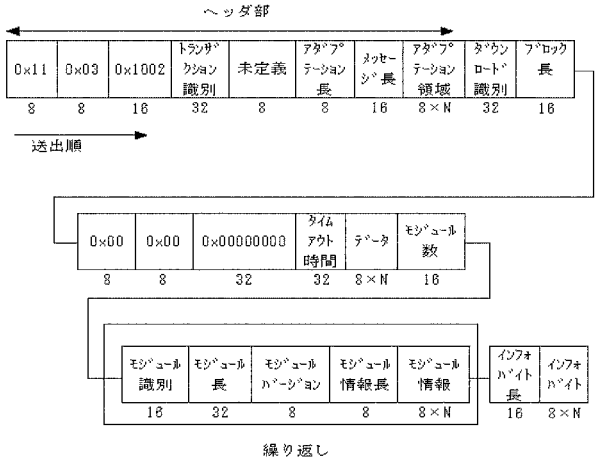
第明三種郵便物認可

注１　ダウンロード識別は、ダウンロード・データ・ブロックメッセージと関連するダウンロード・インフォ・インディケーションメッセージを識別するために使用する領域とする。
２　アダプテーション長は、アダプテーション領域のデータバイト数を書き込む領域とする。
３　メッセージ長は、メッセージ長領域より後に続くデータバイト数を書き込む領域とする。ただし、この値は、4072を超えてはならない。
４　アダプテーション領域は、ヘッダ部の拡張を行う領域とする。
５　モジュール識別は、ダウンロード・データ・ブロックメッセージで伝送するモジュールを識別するために使用する領域とする。
６　モジュールバージョン領域は、ダウンロード・データ・ブロックメッセージで伝送するモジュールのバージョンを書き込む領域とする。
７　ブロック番号は、ダウンロード・データ・ブロックメッセージで伝送するモジュールにおけるブロックデータ領域のデータの順序を書き込む領域とする。
８　ブロックデータは、モジュールを分割したデータの一部とする。なお、ブロックデータのデータバイト数は、モジュールの最後のデータである場合を除き、ダウンロード・データ・ブロックメッセージと関連するダウンロード・インフォ・インディケーションメッセージのブロック長と同じでなければならない。

別表第三号　ダウンロード・インフォ・インディケーションメッセージの構成



注１　トランザクション識別は、ＩＳＯ／ＩＥＣ　13818―６に従うものとする。
２　アダプテーション長は、アダプテーション領域のデータバイト数を書き込む領域とする。
３　メッセージ長は、メッセージ長領域より後に続くデータバイト数を書き込む領域とする。ただし、この値は、4072を超えてはならない。
４　アダプテーション領域は、ヘッダ部の拡張を行う領域とする。
５　ダウンロード識別は、ダウンロード・インフォ・インディケーションメッセージを識別するために使用する領域とする。
６　ブロック長は、ダウンロード・インフォ・インディケーションメッセージと関連するダウンロード・データ・ブロックメッセージのブロックデータ領域のデータバイト数を書き込む領域とする。
７　タイムアウト時間は、ダウンロードを開始してから終了するまでのタイムアウト時間をマイクロ秒単位で書き込む領域とする。
８　データは、ＩＳＯ／ＩＥＣ　13818―６に従うものとする。
９　モジュール数は、モジュール識別領域からモジュール情報までの繰り返し数を書き込む領域とする。
10　モジュール識別は、モジュール情報領域に情報を書き込まれるモジュールを識別するために使用する領域とする。
11　モジュール長は、モジュール情報領域に情報を書き込まれるモジュールのデータバイト数を書き込む領域とする。
12　モジュールバージョンは、モジュール情報領域に情報を書き込まれるモジュールのバージョンを書き込む領域とする。
13　モジュール情報長は、モジュール情報長の後に続くモジュール情報領域のデータバイト数を書き込む領域とする。
14　モジュール情報は、別記第１、別記第３及び別記第４に示す情報を含むモジュールに関する情報を書き込む領域とする。
15　インフォバイト長は、インフォバイト長の後に続くインフォバイト領域のデータバイト数を書き込む領域とする。
16　インフォバイトは、別記第２及び別記第３に示す情報を含むダウンロード・インフォ・インディケーションメッセージと関連する全てのダウンロード・データ・ブロックメッセージに関する情報等を書き込む領域とする。

別記第１　ファイル形式記述子

記述子タグ	記述子長	ファイル型式
8	8	8×N

送出順

注１　記述子タグの値は、ファイル形式記述子を示す0x01とする。
２　記述子長は、これより後に続くデータバイト数を書き込む領域とする。
３　ファイル形式は、モジュールのファイル形式をテキスト形式で記述する領域とする。

別記第２　蓄積ルート記述子

記述子タグ	記述子長	データ	ディレクトリ名
8	8	8	8×N

送出順

注１　記述子タグの値は、蓄積ルート記述子を示す0xC5とする。
２　記述子長は、これより後に続くデータバイト数を書き込む領域とする。
３　ディレクトリ名は、モジュールを受信設備に蓄積する際のディレクトリ構造のうち、最上位のディレクトリの名称をテキスト形式で記述する領域とする。

別記第３　サブディレクトリ記述子

記述子タグ	記述子長	サブディレクトリ名
8	8	8×N

送出順

注１　記述子タグの値は、サブディレクトリ記述子を示す0xC6とする。
２　記述子長は、これより後に続くデータバイト数を書き込む領域とする。
３　サブディレクトリ名は、モジュールを受信設備に蓄積する際のディレクトリ構造のうち、蓄積ルート記述子で指定される構造を除くディレクトリ構造をテキスト形式で記述する領域とする。